

学校採用教員の赴任前研修プログラムの概要と研修の様子

【日 時】平成30年2月11日（日） 開場 8:15～ 研修 8:55～17:00
 2月12日（月） 開場 8:30～ 研修 9:00～15:25

【会 場】公益財団法人海外子女教育振興財団（東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階）

【研修目的】

- ① 2月11日：日本人学校の教員として求められる基本的な心構え、授業作りにいかせる具体的な指導方法について学ぶ。
- ② 2月12日：前日の研修をもとに、赴任後、授業作りにいかせる指導方法の基本をグループワーク、模擬授業を通して身につける。

【研修内容】

2月11日（日）

8:55-9:00	本日の流れ（植野）
9:00-10:30	<Ⅰ>教師としての基礎的素養 担当：細井 教師としての心構えとともに、サービス事項への理解、日本人学校教員として期待されること、教師の1日・学校の1年の流れの理解を通して、日本人学校の教員として基礎的な素養を身につけることができるようにする。
10:40-12:10	<Ⅱ>学級経営・生活指導・危機管理 担当：赤羽 学級経営の取組について年間を見通しつつ、4月当初の学級スタート時の仕事内容に見通しを持つことができるようにする。また、生活指導・教育相談についての理解と危機管理・組織的対応についての基本的な知識と心構えを身に着けることができるようにする。
12:10-12:40	昼食
12:40-14:10	<Ⅲ>授業構成・運営の仕方と授業技術の基礎 担当：高松 授業をいかに構成するのかという基本的な考え方と、授業実践の基盤となる学習ルールや指導の仕方について知るとともに、授業の基礎的な技術を習得できるよう、具体例を交えた講義を実施する。
14:20-15:50	<Ⅳ>教科等指導の基本的な授業の進め方 担当：細井、高松、平田 学習指導要領と教科等（各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間）の学習指導の基本的な展開について理解を深めることができるよう、全体と教科別（国語、算数・数学、社会）に分かれた講義を実施する。
16:00-17:00	講話：上海日本人学校松浪校長、事務連絡：山中事務主任

2月12日（月）

上海日本人学校「魅力ある授業づくり」 模擬授業検討会 ―教科・校種を越えて、子どもを引き付ける授業―	
9：00―9：15	ガイダンス 担当：赤羽
9：15―9：25	グループ分け（4人～5人、3グループ）
9：25―11：45	グループでの話し合い ① 題材、教材、学年決め、候補から選ぶ ② 授業構想、指導案作り（略案）、教材作り
11：45―12：15	発表会の進め方 ―リフレクションの持ち方説明 担当：赤羽
12：15―13：00	昼食
13：00―15：10	発表会 <各グループ 授業（20分）リフレクション（20分）> Ⅰグループ 授業 13：00―13：20 リフレクション 13：20―13：40 Ⅱグループ 授業 13：40―14：00 リフレクション 14：00―14：20 10分休憩 Ⅲグループ 授業 14：30―14：50 リフレクション 14：50―15：10
15：10―15：25	講評、諸連絡

【講師】

赤羽 寿夫 東京学芸大学教職大学院教授

細井 宏一 東京学芸大学附属大泉小学校副校長

高松 美紀 東京都立国際高等学校教員・国際バカロレア担当

平田 博嗣 海外子女教育振興財団教育相談員（元ナイロビ日本人学校長）

【研修参加者数】

	上海日本人学校虹橋校	上海日本人学校浦東校	上海日本人学校高等部
参加者数	6名	6名	3名

【当日の様子：2月11日】

< I > 教師としての基礎的素養



< II > 学級経営・生活指導・危機管理



< III > 授業構成・運営の仕方と授業技術の基礎



< IV > 教科等指導の基本的な授業の進め方



【当日の様子：2月12日】

模擬授業検討会

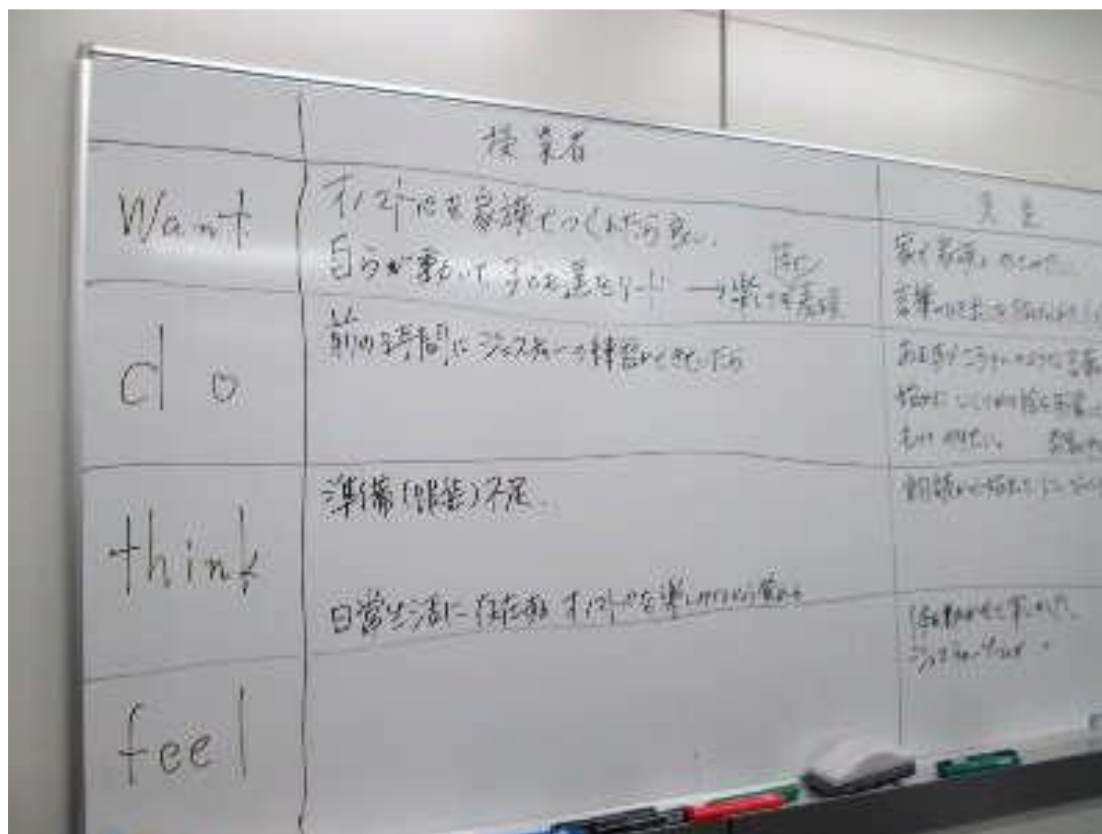
グループでの話し合い



授業



リフレクション



以上